林（憲）研究室

［地域生態圏活用型社会］

生産技術研究所　人間社会系部門

Department of Human and Social Systems

都市居住空間史

工学系研究科 建築学専攻

https://hayalab.iis.u-tokyo.ac.jp

近代以前の建築や都市は、自然・文化・歴史など、地域固有の条件に強く束縛されていました。近代は、そうした地域生態圏から人々を幾分自由にし、新たな価値を数多くもたらしましたが、他方で、やや味気ない社会を創り上げたのかもしれません。私たちは、いま一度その歴史に目を向けながら、地域生態圏を制約ではなく資源と捉え、そこから他地域では得難い価値を生み、地域を越えて共有する、そんな社会の可能性を探っています。そのために、地域生態圏を読み解くリテラシーを鍛え、都市や建築の記録・継承・更新に取り組んでいます。

mASEANaプロジェクト

東南アジア9か国の専門家とともに、各国の近現代建築の記録・保全を促進するプロジェクト。1950年代から70年代の建築を中心に現存する近現代建築のインベントリーを作成しています。Docomomo Japanと国際交流基金と共同で実施しています。

オマーン伝統家屋の保存再生

アラビア半島のオマーンで進めている石造家屋の修復プロジェクトです。中緯度乾燥地域のオマーンは木材資源に乏しく、いまでこそコンクリートの住宅が主流になっていますが、かつては石や土が中心でした。その構法を解明しながら、サイクロンで損壊した住宅を現代によみがえらせる取り組みです。

百年カンポン

インドネシアのメガシティ・ジャカルタには、カンポンと呼ばれる自然発生的なインフォーマル居住地がありますが、その多くはオランダ植民地期から続く歴史的な居住地でもあります。それらを「百年カンポン」と名付けて、持続の仕組みやコミュニティの特質を調査・研究しています。

生研遺産

東大第二工学部を引き継いで1949年に設立された生産技術研究所が戦後日本に残した事績を辿るプロジェクトです。当時の工学研究を支えた建物や設備を「生研遺産」として記録しながら、生研の自画像を映し出します。ロケット編、鉄鋼編と調査を進めています。

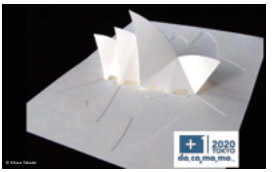
東大寺図書館

建築家・谷口吉郎の設計で1967年に竣工した東大寺図書館の歴史調査をおこなっています。東大寺文書などの貴重史料の保管と公開を担ってきた施設ですが、2011年の新図書館への移転に伴いその役目を終えました。これからの活用方法の検討をお手伝いしています。

長屋門ステイ

宮城県栗原市の長屋門をゲストハウスに改修する学生主導のプロジェクトです。栗原市には長屋門が500軒以上も存在し、20世紀を通じて地域の農作業を支える重要なビルディングタイプだったことがわかります。その長屋門を次世代のビルディングタイプとして継承・活用していく試みです。

モモ折り紙建築ギャラリー



折り紙建築家の方々と一緒に、近現代建築の魅力を伝える活動です。新しい時代を開いたモダンムーブメントの建物も過去の遺産となりつつありますが、それを次世代の資源にするためには、多くの人に愛着を持ってもらうことが大切です。2020年5月より毎週1作品をFacebookで紹介しています。